【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第６区分
【発行日】平成19年11月29日(2007.11.29)

【公開番号】特開2006-290395(P2006-290395A)
【公開日】平成18年10月26日(2006.10.26)
【年通号数】公開・登録公報2006-042
【出願番号】特願2005-112915(P2005-112915)
【国際特許分類】
Ｂ６５Ｄ　81/34　　(2006.01)
Ｂ６５Ｄ　33/01　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ６５Ｄ　81/34　　Ｕ
Ｂ６５Ｄ　33/01

【手続補正書】
【提出日】平成19年10月11日(2007.10.11)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
上面と下面を形成する一対のシート部材の周縁部をシールしてなる袋体であって、
袋体内部の圧力が上昇して大気圧以上の所定値を超えたときに、袋体の一部を開口させることによって袋体内部の圧力を外部に逃がして圧力を低下させる圧力解放機構を有し、
該圧力解放機構は、袋体内部の圧力を逃がした後も、該袋体内部の圧力を少なくとも大気圧より高く保つ圧力維持機能を有し、
前記圧力解放機構が、前記周縁部の内方において前記上面及び下面シートを所定形状に接着して形成される圧力負荷部からなり、
該圧力負荷部は、前記周縁部から間隔をあけて形成されるとともに、その接着強度が上面シートの引っ張り強度より強く、且つ前記周縁部の接着強度より弱く設定されており、
袋体内部の圧力が所定値に達すると、前記圧力負荷部周りの上面シートにおいて材料破壊が発生し、該圧力負荷部と略同一形状の開口部が上面シートに形成されることを特徴とする電子レンジ用袋体。
【請求項２】
前記圧力負荷部が円形状又は略円形状であることを特徴とする請求項１記載の電子レンジ用袋体。
【請求項３】
請求項１又は２に記載の袋体を使用する加熱加圧調理方法であって、
下準備が行われた食材を収容した食材収容具を前記袋体内部に収容し、
前記袋体を密封し、
前記袋体を加熱し、
圧力解放機構が、前記袋体の一部を開口させて、袋体内部の圧力を低下させるために、袋体内の圧力を解放するとともに、
該圧力解放機構の圧力維持機能が、袋体内部の圧力を大気圧以上の一定値に維持し、
大気圧以上の一定圧力下で、さらに加熱が施されることを特徴とする加熱加圧調理方法。
【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００７】
請求項１記載の発明は、上面と下面を形成する一対のシート部材の周縁部をシールしてなる袋体であって、袋体内部の圧力が上昇して大気圧以上の所定値を超えたときに、袋体の一部を開口させることによって袋体内部の圧力を外部に逃がして圧力を低下させる圧力解放機構を有し、該圧力解放機構は、袋体内部の圧力を逃がした後も、該袋体内部の圧力を少なくとも大気圧より高く保つ圧力維持機能を有し、前記圧力解放機構が、前記周縁部の内方において前記上面及び下面シートを所定形状に接着して形成される圧力負荷部からなり、該圧力負荷部は、前記周縁部から間隔をあけて形成されるとともに、その接着強度が上面シートの引っ張り強度より強く、且つ前記周縁部の接着強度より弱く設定されており、袋体内部の圧力が所定値に達すると、前記圧力負荷部周りの上面シートにおいて材料破壊が発生し、該圧力負荷部と略同一形状の開口部が上面シートに形成されることを特徴とする電子レンジ用袋体を提供する。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００８】
請求項２記載の発明は、前記圧力負荷部が円形状又は略円形状であることを特徴とする請求項１記載の電子レンジ用袋体を提供する。
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００９】
請求項３記載の発明は、請求項１又は２に記載の袋体を使用する加熱加圧調理方法であって、下準備が行われた食材を収容した食材収容具を前記袋体内部に収容し、前記袋体を密封し、前記袋体を加熱し、圧力解放機構が、前記袋体の一部を開口させて、袋体内部の圧力を低下させるために、袋体内の圧力を解放するとともに、該圧力解放機構の圧力維持機能が、袋体内部の圧力を大気圧以上の一定値に維持し、大気圧以上の一定圧力下で、さらに加熱が施されることを特徴とする加熱加圧調理方法を提供する。
【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１０
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１１
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正７】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１２
【補正方法】削除

【補正の内容】
【手続補正８】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１３
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正９】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１４
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正１０】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１５
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正１１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１６
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正１２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１７
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正１３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１８
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正１４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１９
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正１５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２０
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正１６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２１
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正１７】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２２
【補正方法】削除

【補正の内容】
【手続補正１８】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２３】
請求項１記載の発明によれば、袋体内部の圧力を開放する為の圧力解放機構を設ける一方で、この圧力解放機構が圧力維持機能を有することによって、袋体の破裂が防止されると同時に袋体内部の圧力を大気圧より高い圧力に保つことができるため、この袋体を用いて加熱加圧調理が可能となる。
また、圧力負荷部が周縁部から間隔を有して形成されることによって、袋体内部の圧力が上昇すると、圧力負荷部の周りに圧力が集中する。このとき、圧力負荷部の接着強度が上面シートの引っ張り強度より強く、且つ前記周縁部の接着強度以下に設定されているので、袋体内部の圧力が上昇すると、圧力負荷部の周縁部の上面シートにおいて材料破壊が発生し、圧力負荷部と略同一形状の開口部が形成され、袋体内部の圧力を低下させることができる。
この開口部の大きさは、圧力負荷部の大きさに依存するため、形成される開口部の大きさにより袋体内部の圧力の調節を行うことができる。つまり、圧力負荷部の大きさを調節することによって、圧力を逃がした後の袋体内部の圧力を調節することができ、袋体内部の圧力を大気圧より高く保つことができる。
【手続補正１９】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２４】
請求項２記載の発明によれば、圧力負荷部を円形又は略円形にすることによって、圧力負荷部に均等の圧力を負荷することができるので、確実に開口部の大きさを調節することができる。開口部の大きさを調節することによって、圧力を逃がした後の袋体内部の圧力を調節することができるので、袋体内部の圧力を大気圧より高く保つことができる。
【手続補正２０】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２５】
請求項３記載の発明によれば、食材に圧力調理を施すために、請求項１又は２に記載の袋体を使用しているため、圧力解放機構により袋体内部の圧力を逃がした後も、袋体内部の圧力は大気圧より高く保たれ、袋体内の食材に対して圧力調理をすることができる。
また、下準備した食材を収容した食材収容具を袋体に収容することで、加熱加圧調理後、食材収容具を取り出し、食器に食材を綺麗に盛り付けたり、食材収容具の食材を別の食器に移す手間を省いて、その食材収容具のまま食事することが可能となる。
【手続補正２１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２６
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正２２】
【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００２７
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正２３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２８
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正２４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２９
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正２５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００３０
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正２６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００３１
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正２７】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００３２
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正２８】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００３３
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正２９】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００３４
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正３０】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００３５
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正３１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００３６
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正３２】
【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００３７
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正３３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００３８
【補正方法】削除
【補正の内容】